

3

きょう ひさま て
今日はお日様がカンカンと照りつける、と
あつ ひ
ても暑い日です。

のほら ま なか とお みち いっぴき
野原の真ん中を通る道を、一匹のきつねが
ある
歩いていました。

なんにち た
きつねはもう何日もエサを食べていなかった
たので、とてもお腹を空かせていました。

なか す
「ああ、お腹空いた・・なんでもいいから、
た
食べられるものがないかな～」



5

ふと道の向こうに、^{みち} ^む ^{おお} ^き ^み大きな木が見えてきました。

きつねは^{おも} ^よ思わずかけ寄りました。

なぜなら、その木は^き ^き ^{えだ}ぶどうの木で、枝においしそうなぶどうがたくさん^な生っていたのです。

「ああ、^{あま}甘ずっぱい、いいにおいだな～」

きつねの^{くち}口からよだれがこぼれました。



17

It was a boiling hot day, and the sun beat down.

A fox was walking along a path in the middle of a field and he was starving because he hadn't eaten for days.

"Ah, I'm starving! I wonder if there is something to eat!" he said.



19

All of a sudden, a big tall vine appeared
from across the path.

And he hurriedly ran up to it.

The vine was loaded with lots of grapes.

"Oh, what a sweet and sour smell!"

It made his mouth water.

